

仕様確認書

提案機器名： _____ ※要求仕様の個別の回答については、「仕様を満たす」「機能を有する」等の回答だけではなく、カタログもしくはその他の資料を用いて明確に提示、回答すること。資料の明示が困難である場合は、別途、担当者との協議すること。

提案者名： _____

仕様確認書提出日： _____

対象	NO	要求仕様	回答
陰圧アイソレーター	①-1	作業庫内は陰圧とし、清浄度はISOクラス5を満たすこと。	
	①-2	排気はフィルターを通して100%屋外に排出されること。	
	①-3	給気及び排気のフィルターは集塵効率0.5 μ m粒子にて99.99%以上のHEPAフィルターとすること。	
	①-4	隔離された無菌調製作業区画（以下、作業庫）を2つ備えていること。	
	①-5	作業庫内は、幅880mm×奥行630mm×高さ800mm以上とすること。	
	①-6	作業庫前面に、左右両腕のグローブポートを備えていること。	
	①-7	作業庫内には吊り下げバケツ及び吊り下げフックを備えていること。	
	①-8	作業庫内にはコンセントを備えていること。	
	①-9	作業庫内にはケーブルポートを備えていること。	
	①-10	作業庫内には廃棄物投入口を備えていること。	
	①-11	作業庫内の気圧を計測する差圧計を備えていること。	
	①-12	バケツを備えていること。	
	①-13	バケツ庫内は、幅420mm×奥行630mm×高さ800mm以上とすること。	
	①-14	バケツにはスライドテーブルを備えていること。	
	①-15	バケツ庫内の気圧を計測する差圧計を備えていること。	
	①-16	廃棄物バケツを2つ備えていること。	

陰圧アイソレーター	①-17	廃棄物が icks の投入口は作用庫内に備えていること。	
	①-18	外形寸法は、幅2400mm×奥行845mm×高さ2100mm以上とすること。	
	①-19	外装は鋼板製焼付塗装及びステンレスSUS304とすること。	
	①-20	作業庫内及びパ スト icks 庫内はステンレスSUS304とすること。	
	①-21	排気ダ 径は250mmとすること。	
	①-22	排気風量は800CMH以上とすること	
注射払出装置	②-1	本院が採用している調剤システムとがタイズ の必要がなく連携し、注射オダ ーを自動的に入力する機能を保有し、そのデ ータに基づき、注射薬払出装置を稼働させること。	
	②-2	薬品補充業務の作業効率考慮して、薬品は全て薬品カセットにランダムに収納されること。また、全ての薬品カセットは薬品ごとに調整が不要な構造であること。	
	②-3	患者トレは、B4トレ内を小分けトレで4分割したものを採用していること。	
	②-4	注射薬の払い出しは、トレ4分割方式とし、4分割された患者トレの分割部に、施用単位又はRp単位に注射薬と輸液パ ールが自動投入されること。また、注射箋もトレ内に自動投入されること。	
	②-5	薬品種、処方本数、処方区分等により、紙薬袋をトレーに印字投入できること。	
	②-6	薬品種、処方本数等により、施用単位またはRp単位を分割トレに自動投入できること。	
	②-7	注射薬払出装置で使用するトレは、A4サイズ の注射箋が折らずに投入できること。	
	②-8	使用するトレは、深型・ミドル型・浅型の3種の深さからいずれか1種類を使用できること。	
	②-9	トレ表示器は、視認性の高い電子ペ ーパ ーを採用すること。	
	②-10	トレ表示器は、経済性を考慮して5年以上電池交換不要であること。	
	②-11	トレ表示器は、個人情報保護を考慮してリモコンで表示内容を消せること。	
	②-12	注射薬、注射箋、パ ールが欠品した場合や完了トレが満杯になった場合、画面表示及び音で知らせること。	
	②-13	注射薬払出装置の全ユニットは背面を開けることなく、正面からメンテナンスが完結することにより壁付け設置ができること。また部屋の中央などにも多彩な設置ができること。	
	②-14	処理速度は、1時間あたり300から400分割程度であること。	

注射払出装置	②-15	装置に電源を供給できない状況でも、薬品を取り出せること。	
	②-16	各装置にて薬品及び消耗品欠品や装置エラーが発生した際には、対象箇所、薬品名称を音声にて通知すること。	
	②-17	お知らせの音声は、作業効率を考慮し1ラインごとに男性音声、女性音声の選択ができること。	
	②-18	非常停止ボタンが備わっていること。	
	②-19	使用するトレイは輸液の収納に優れ、またトレイ保管の省スペース化にも配慮している寸法である内寸W249mm×D349mm×H98mm以上であること。	
	②-20	使用するトレイは、作業効率を考慮して、重ねて積めること。	
	②-21	注射薬払出装置で使用するトレイは、搬送カートに収納できること。	
	②-22	今回導入する注射薬払出装置と既存調剤システムは薬品管理徹底のため、マスター一元管理ができること。	
	②-23	注射薬払出装置は省スペース化に貢献するため、奥行き1000mm以内であること。	
	②-24	注射薬払出装置は、空トレ装置1台、ラベルプリンター装置1台、アンブリアル払出装置1台、注射箋プリンター装置1台、完了トレ装置1台から構成され、本院の希望する払出形態が実現できること。	
	②-25	注射薬払出装置の機器構成は、上記の構成のものを1式として、総計1式を納入できること。	
	②-26	一次側設備・施設建築物・床の補強・電源設備等は本院が用意するので、これらの詳細に関しては本院に問い合わせること。	
	②-27	装置の設置にあたり、一次側設備・施設建築物・床の補強・電源設備等以外の、電源タップ・配線・配管等を必要とする場合は、納入業者の負担で用意すること。	
	②-28	制御PCの台数は1台であること。	
	②-29	薬品払出時にGS1バーコード及び使用期限を自動で読み取る機能があり、間違った薬品が充填されている場合や使用期限が切れている薬品があった場合にワーニングを出せること。	
	②-30	1装置に最大144種類の薬品を収納できること。	
②-31	装置前面にタッチモニターがあり、薬品切れや各種エラーの表示および薬品補充操作や装置内薬品在庫量確認などの情報を表示できること。		
②-32	装置内薬品充填効率の観点から薬品カセットは薬品の大きさによってMサイズカセット・Lサイズカセットの2種類に保管できること。/Mサイズカセット：φ10mm～φ26mm/72カセット以上/Lサイズカセット：φ10mm～φ40mm/72カセット以上		
②-33	薬品カセットの適応薬品は以下のとおりであること。/1～20mlアンプル/20mlプラスチックアンプル/φ40mm以下のバイアル		

注射払出装置	②-34	払出量に応じて、同一薬品を複数カセットに収納できること。	
	②-35	薬品カセットは補充の効率を重視した開閉蓋がない構造で、カセット上部から直接補充できること。	
	②-36	薬品補充のしにくさや薬品破損の要因になるパネはカセット内に使用していないこと。	
	②-37	薬品補充時の入れ間違いを防止するバーコードチェックシステムがあること。	
	②-38	アンブリアル払出装置は、1000本/1時間程度の処理能力であること。	
	②-39	薬品カセットの配置換えは、部品の交換をすることなく薬品カセットの移動のみで実現できること。	
	②-40	薬品棚部にはLEDがあり、薬品の欠品や庫内在庫が少ない薬品を点灯・点滅でお知らせできること。	
	②-41	装置に電源を供給できない状況でも、薬品を取り出せること。	
	②-42	返納薬品の自動仕分け機能があり、薬品の自動仕分け用カセットとして40カセット以上を返納仕分けカセットに割り当てできること。	
	②-43	自動で仕分けした返納薬品から優先的に払出しを行う機能があること。	
	②-44	返納薬品の自動仕分け時に使用期限チェックができること。	
	②-45	返納薬品の自動仕分け時に、使用期限が切れている薬品やバーコードの読取りが出来なかった薬品は、専用の保管エリアに自動で仕分けられること。	
	②-46	返納薬品の自動仕分け中にオーダーを受信した場合には、薬品払出しを優先する割り込み処理機能があること。	
	②-47	重量計測方式を用いて、装置内薬品の在庫量を自動カウントする機能があること。	
	②-48	ポットアームで注射箋を掴むことにより、トレーへ正確に投入できること。	
	②-49	最大A4サイズ以上の注射箋を印字できること。	
	②-50	注射箋には、以下の項目を適切な位置にリアウトでき印刷できること。 ●オーダー情報内の患者番号/●患者氏名/●病棟名称/●診療名称 ●生年月日/●年齢/●性別/●医師名/●薬品名称/●保存区分(冷所、暗所等) ●薬品区分(輸液、毒薬、劇薬等)/●施用量/●施用単位/●手技/●投与経路 ●施用回数/●投与スピード/●コメント/●処方区分/●至急区分 ●オーダー番号など	
②-51	投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるバーコードを印字できること。		

注射払出装置	②-52	注射箋は薬剤部用と病棟用の2部が印字できること。	
	②-53	緊急処方時は外部に設置したプリンターでも同様な注射箋が印字できること。	
	②-54	注射箋7カラー印字でき、Windowsで使用するフォントが使えること。	
	②-55	長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のカラーレーザープリンターを搭載していること。	
	②-56	2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼働時と同様に払い出せること。	
	②-57	輸液パレットは施用単位ごとに発行でき、B4トレ内の各小分けトレに輸液パレットを自動投入できること。	
	②-58	輸液パレットは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、輸液パレットを掴んで正確に投入できるホットアームを搭載していること。	
	②-59	パレット送り機構は静電気の発生を伴う自然落下ではなくモーター制御であること。	
	②-60	<p>パレットには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーダー情報内の患者番号/●患者氏名/●病棟名称/●診療名称 ●生年月日/●年齢/●性別/●医師名/●薬品名称/●保存区分（冷所、暗所等） ●薬品区分（輸液、毒薬、劇薬等）/●施用量/●施用単位/●手技 ●投与経路/●施用回数/●投与スピード/●コメント/●処方区分/●至急区分 ●オーダー番号など 	
	②-61	投薬確認に使用する患者リストバンド等と整合性がとれるバーコードを印字できること。	
	②-62	緊急処方時は外部に設置したプリンターでも同様なパレットが印字できること。	
	②-63	パレットへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。	
	②-64	パレットには注意書き情報が印字できること。（例えば配合変化が懸念される処方の場合）	
	②-65	長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のパレットプリンターを搭載していること。	
	②-66	2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼働時と同様に払い出せること。	
	②-67	空トレ装置は、アンプル・バイアル等を払い出すトレをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレ供給できること。	
②-68	深型トレは、1ユニットで20個以上のトレを収納できること。		
②-69	トレを積載した専用トレ台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。		

注射払出装置	②-70	最大8ユニットまで増設ができること。	
	②-71	トレ台車は、効率化の為に重ねた20個以上のトレを一度に充填できること。	
	②-72	トレ充填を効率化するため、トレ台車は外部に予備で用意できること。	
	②-73	トレ台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。	
	②-74	エラー発生時やトレ補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。	
	②-75	トレを積み重ねて保管できること。	
	②-76	トレを積んだ状態で移動できること。	
	②-77	トレ台車はトレを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。	
	②-78	トレ台車は、トレをまとめて積載し、空トレ装置内にセットできること。	
	②-79	1ユニットは26個以上のトレを収納できること。	
	②-80	最大8ユニットまで増設ができること。	
	②-81	トレ脱着装置は、効率化のため重ねた13個以上のトレを一度に取り出せること。	
	②-82	間断ない薬品払い出しのため、13個以上のトレをトレ脱着装置で一度に取り出せること。	
	②-83	トレ取り出しカートが取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。	
	②-84	エラー発生時やトレ補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。	
	②-85	トレ表示器は、視認性の高い電子ペーパーを採用すること。	
	②-86	トレ表示器は、経済性を考慮して5年以上電池交換不要であること。	
	②-87	トレ表示器は、1つの画面で2つの表示データを持てること。	
	②-88	トレ表示器は、個人情報保護を考慮してリモコンで表示内容を消せること。	
②-89	小分けトレは、B4注射トレ内に最大4個セットできること。		

注射払出装置	②-90	小分けトレ-数量は、2960個以上とすること。	
	②-91	小分けトレ-は作業効率を考慮して重ねることができ、仕切り版を使用しないこと。	
	②-92	ホリ付着防止を考慮して、小分けトレ-の材質は持続性静電防止樹脂製であること。	
	②-93	トレ-表示器の個体パ-コードを認識し、表示情報を送信できる機能を有すること。	
	②-94	トレ-表示器に対して個体を識別できるよう、本院が指定する以下の情報を送信できること。☒ ●患者名/●施用日/●病棟名/●処方区分/●保管区分など	
	②-95	1トレ-表示器は、トレ-側面にトレ-個体を識別できるよう、本院の希望する以下の情報が表示できること。 ●患者名/●施用日/●病棟名/●処方区分など	
	②-96	トレ-表示器は、視認性の高い電子ペ-パ-を採用すること。	
	②-97	トレ-表示器は、経済性を考慮して7年以上電池交換不要であること。	
	②-98	トレ-表示器は、1つの画面で2つの表示デ-タを持つこと。	
	②-99	トレ-表示器は、個人情報保護を考慮してリモコンで表示内容を消せること。	
	②-100	トレ-表示器数量は、740個以上とすること。	
	②-101	トレ-表示器の表示内容をあらかじめ数種類登録することにより、トレ-表示器リモコンでその表示を切り替えられること。	
	②-102	患者の個人情報保護のため、人目に触れる搬送時などはトレ-表示器リモコンで一時的にトレ-表示画面を無地に切り替えられること。	
	②-103	「冷所」などの任意文字をトレ-表示器リモコンにいくつか登録できること。	
	②-104	払出し時に書き込まれた表示画面から、ワンプ-タ操作でリモコン登録画面へ切り替えられること。	
②-105	トレ-表示器リモコンは、単一トレ-の表示切替、カート全体トレ-の表示切替を行え、ピンポイント型とワイド型から選択できること。		

1 集塵機付散薬台（天袋付き）	③-1	外寸は幅1800mm×奥行600mm、高さを2400mm以内とすること。	
	③-2	集塵効率は0.3 μ 粒子で95%とすること。	
	③-3	消費電力は最大値を1.5A以下とすること。	
	③-4	100Vコンセントを1個以上有すること。	
	③-5	作業天板には既存散剤監査システムの設置ができる機能を有すること。	
	③-6	散剤瓶を収納する上棚部棚板は3列以上を有すること。	
	③-7	散剤瓶を収納する上棚部棚板は高さ調整機能を有すること。	
	③-8	下台の上列は全て鍵付き引出式とすること。	
	③-9	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	
錠剤台(天袋付き)	④-1	外寸は幅1800mm×奥行600mm、高さを2400mm以内とすること。	
	④-2	錠剤上棚の収納ケースは144種以上とすること。	
	④-3	錠剤上棚の収納ケースは6種以上のサイズを選択、混載設置できる機能を有すること。	
	④-4	下台の上列は全て鍵付き引出式とすること。	
	④-5	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	
漢方薬台上棚特注（天袋付き）	⑤-1	外寸は幅1800mm×奥行600mm、高さを2400mm以内とすること。	
	⑤-2	漢方薬上棚の収納ケースは50以上とすること。	
	⑤-3	下台の上列は全て鍵付き引出式とすること。	
	⑤-4	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	
	⑥-1	外寸は幅900mm×奥行600mm、高さを2400mm以内とすること。	

外用台 (天袋付き)	⑥-2	外用上棚の収納ケースは108種以上とすること。	
	⑥-3	外用上棚の収納ケースは6種以上のサイズを選択、混載設置できる機能を有すること。	
	⑥-4	下台の上列は全て鍵付き引出式とすること。	
	⑥-5	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	
軟膏台(天袋付き)	⑦-1	外寸は幅1200mm×奥行600mm、高さを2400mm以内とすること。	
	⑦-2	軟膏上棚の収納ケースは144種以上とすること。	
	⑦-3	外用上棚の収納ケースは6種以上のサイズを選択、混載設置できる機能を有すること。	
	⑦-4	下台の上列は全て鍵付き引出式とすること。	
	⑦-5	下台の引出は16個以上とすること。	
	⑦-6	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	
薬袋印字装置	⑧-1	本院が採用している調剤システムとカスタマイズの必要がなく接続できる機能を有すること。	
	⑧-2	本院が採用している電子カルテシステムにてオーダーされた調剤データを基に、当院薬品払出内規に応じて自動解析を行い、処方箋、薬袋、医薬品情報提供書、鑑別報告書、各種集計表等を発行する機能を有すること。	
	⑧-3	薬袋を6種類以上実装できる機能を有すること。	
	⑧-4	現在使用している薬袋を引き続き使用できること。	
	⑧-5	A6サイズ薬袋、角底薬袋に対応していること。	
	⑧-6	フルカラーで35枚/分以上の印刷性能を有すること。	
薬袋印字装置	⑧-7	印刷方式はレーザー方式とし、解像度は4,800dpi相当×1,200dpi、9,600dpi相当×600dpi以上の性能を有すること。	

注射ラベルプリンター	⑨-1	本院が採用している調剤システムとカマイクの必要がなく接続できる機能を有すること。	
	⑨-2	本院電子カルテシステムにてオーダーされた調剤データを基に、当院薬品払出内規に応じて自動解析を行い、おくすり手帳、注射ラベル、患者ラベル等を発行する機能を有すること。	
	⑨-3	注射ラベルを発行する際には実施チェックに必要なバーコードを印刷できる機能を有すること。	
	⑨-4	現在使用しているラベルを引き続き使用できること。	
	⑨-5	印刷方式は感熱、熱転写方式の兼用とし、解像度は305dpi（12dot/mm）以上の性能を有すること。	
	⑨-6	LAN接続ポート、ラベルの長さを情報量に応じて自動でカットする機能を有すること。	
クリーンベンチ	⑩-1	無菌製剤用のクリーンベンチであること。	
	⑩-2	清浄度については、ISOクラス5を満たす性能を有すること。	
	⑩-3	気流の方式は垂直層流式とすること。	
	⑩-4	庫内の高さ寸法は、850mm以上とすること。	
	⑩-5	外形寸法は、幅1900mm×奥行800mm±30mm以内とすること。	
	⑩-6	庫内の高さ寸法は、850mm以上とすること。	
	⑩-7	照明灯を備えていること。	
	⑩-8	殺菌灯を備えていること。	
	⑩-9	庫内に機器類（照明灯、殺菌灯、風速センサーなど）が突出していない構造とすること。	
	⑩-10	作業庫内にハンガーパイプ、ハンガーフックを備えていること。	
	⑩-11	処理風量は、27.0m ³ /min以上とすること。	
	⑪-1	外寸は幅950mm×奥行775mm、高さを1900mm以内とすること。	

麻薬金庫	⑪-2	内容積は550ℓ以上とすること。	
	⑪-3	2時間耐火、TS-15に対応すること。	
	⑪-4	施錠は電子ロック式とすること。	
	⑪-5	棚板は3枚以上とし、高さ調整ができること。	
注射薬カート	⑫-1	注射カートの台数は14床用を4台、21床用を12台、48床用を12台とすること。	
	⑫-2	注射薬搬送カートは本院で使用する注射薬自動払出装置用のトレ収納できること。	
	⑫-3	注射薬搬送カート本体は軽量で堅牢なアルミニウム製であること。	
	⑫-4	注射薬搬送カートは多少の床の凹凸は容易に乗り越えられるよう、キャスターの車輪径は直径120mm以上であること。またキャスターはスッパ付であること。	
	⑫-5	注射薬搬送カートからトレを引き出す際、誤ってトレが落下しないよう脱落防止機構が付いていること。	
	⑫-6	注射薬搬送カートで使用するトレは作業効率を考慮して注射薬搬送カート外で重ねて積めること。	
	⑫-7	セキュリティ対策のシャッターと鍵が付いていること。	
	⑫-8	注射薬搬送カートに搭載するトレは内寸W249mm×D349mm×H96mm以上のトレであること。	
	⑫-9	本体収納部はガイドレールを有し、どの位置にもトレの差込ができること。	
	⑫-10	注射薬トレは注射払出装置、注射薬搬送カートにセットできること。	
	⑫-11	注射薬トレは重量が780g以下であること。	
	⑫-12	注射薬トレは内部を4分割するために4個の注射払出装置専用小分けトレを収納できること。	
	⑫-13	注射薬トレ作業効率を考慮して積み重ねができること。	
	⑫-14	注射薬トレの材質は軽量かつ耐薬品性能・耐防塵性能・撥水性に優れた持続性帯電防止特殊樹脂とすること。	
	⑫-15	注射薬トレ側面に、注射払出装置で書き換えが可能なトレ表示器を取り付けられること。	
	⑫-16	トレ表示器は工具無しで取り外しができること。	

注射薬カート	⑫-17	収納モジュールは国際標準規格（ISO3394のハーフサイズ）の300mm×400mm）トレーとし、色はピンク・ブルー・ニュートラルから選択できること。	
	⑫-18	B4トレー内に同色の小分けトレーを組み合わせると小分けトレーの欠落を見落とす恐れがあり、その視認性を高めるためB4トレーと小分けトレーは別の色の組み合わせができること。	
	⑫-19	トレー側面には、トレー個体を識別できるよう、本院の希望する以下の情報が表示できるトレー表示器(電子式の情報表示器)が搭載されること。 ●患者名/●施用日/●病棟名/●処方区分など	
錠剤台(天袋付き)	⑬-1	外寸は幅1500mm×奥行600mm、高さを2400mm以内とすること。	
	⑬-2	洗い物をする流し水槽と水剤を調剤する水槽が分かれていること。	
	⑬-3	右側を流し水槽、左側を水剤用水槽とすること。	
	⑬-4	水剤用水槽には圧力弁を有すること。	
	⑬-5	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	
	⑬-6	メトルガラスをクリップ等を使用し、逆さに収納できる機能を有すること。	
	⑬-7	上棚は水剤を収納できる機能を有すること。	
	⑬-8	上棚の棚板は3段以上を有し、高さ調整ができること。	
	⑬-9	天袋は本体にボルト等で固定され、前面には扉が付いていること。	